

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名 政治経済			担当教員 山本浩樹		
学年学科	3 年 A 学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(A - 1) 1 0 0 %				
授業の目標と期待される効果： 当教科の目標は、現代の日本が直面する様々な問題について基本的な知識を習得し、理解と関心を深めるとともに、社会に参画する市民たるに必要な思考・判断力を育てることにある。 現代社会を生きるために必須の社会的知識を広げる。 現代の世界および日本が直面する諸問題について正しく理解する。 社会的諸問題について論理的に思考し表現する力を養う。 市民として主体的に社会参画する自覚を高める。			成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点 + 期末試験 100 点 + 課題・小テスト等 50 点 後期：中間試験 100 点 + 期末試験 100 点 + 課題・小テスト等 50 点 学年：前・後期の総得点を合計し得点率（％）で成績をつける 達成度評価の基準： 以下に示す要素がどの程度満たされているか、試験および課題で評価する。各要素の成績評価に対する重みは均等であることとする。 社会的事象全般に関する正しい知識を習得できたか。 現代の世界および日本が直面する諸問題について正しく理解することができたか。 社会的諸問題について論理的に思考し表現することが可能となったか。 市民として主体的に社会参画する自覚を高めることはできたか。		
授業の進め方とアドバイス： 授業は講義形式でおこなう。必要に応じて適宜プリント類を配布するほか、DVD等を活用する。時事的な問題についても採り上げていく予定であるので、日常的に新聞等に目を通す習慣をつけて欲しい。					
教科書および参考書： 『資料政経 2011』（東学）を教材として使用する。その他、必要に応じてプリント等を配布する。参考書は適宜授業中に紹介していく。					
授業の概要と予定：前期					
第 1 回：年間授業ガイダンス					
第 2 回：現代国際政治の動向と課題					
第 3 回：国際社会と国際法					
第 4 回：国際連合の成立とその由来					
第 5 回：国際法と戦争責任					
第 6 回：核軍縮をめぐる問題					
第 7 回：現代の国際紛争					
第 8 回：国際政治のなかの日本					
第 9 回：中間試験					
第 10 回：憲法をめぐる諸問題					
第 11 回：日本国憲法の制定とその基本的性格					
第 12 回：基本的人権 自由権的基本権					
第 13 回：基本的人権 社会権的基本権・平等権					
第 14 回：平和主義 戦力の放棄					
第 15 回：平和主義 自衛隊と日米安保					
期末試験					

第16回：フォローアップ（期末試験の解説など）

授業の概要と予定：後期
第17回：現代政治の動向
第18回：国会と政党
第19回：議院内閣制と行政
第20回：司法制度
第21回：地方自治
第22回：マスメディアと世論
第23回：経済とは何か
第24回：修正資本主義と新自由主義
第25回：中間試験
第26回：戦後日本経済の歩み
第27回：戦後日本経済の歩み
第28回：労働者の権利と雇用
第29回：社会保障制度
第30回：環境・エネルギー問題
第31回：人口・食糧問題
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験解説など）